



11月13日(土)、友好都市 鹿児島県枕崎市の薩摩酒造株式会社から本坊 愛一郎社長を招き、「新酒まつり児童書道展」の表彰式が執り行われました。この書道展は、毎年枕崎市で開催される「新酒まつり」に合わせた書道展を本市でも開催し、友好交流を深めようとして行われているもので、今年で4回目を迎えます。みごと最優秀賞に選ばれた、稚内港小学校の久保 創士郎くんには、自身の書が採用され市内で限定販売される新酒ボトルのラベル原画も贈呈され、久保くんは「来年もよい賞を取れるように頑張ります」と、力強く決意を語りました。

力作ずらり！書道展

最優秀賞 久保 創士郎さん
白波賞 井須 桃子さん
白波賞 久保 煌士郎さん



市勢発展へのご貢献に感謝して

11月3日(水) 文化の日、今年度の市政功勞、部門別功績、文化・スポーツ奨励賞受賞者の皆さんの表彰式を執り行いました。受賞者を代表して、中陳 憲一さんが「目の前のことに一生懸命取り組んできた結果の受賞。これからも稚内市のために力を尽くします。」と述べ、周囲の皆さんの支えに感謝しました。

市内小・中学校に派遣される外国語指導助手 (ALT) として、新たにサンミゲル・メリー・アブセディ先生が着任しました。フィリピン共和国出身で、「日本の教育システムを学び、母国に伝えたい」とALTを志し、フィリピンにはない、掃除当番や給食当番にも興味があるそうです。11月2日(火)には、川野副市長、表教育長に着任の挨拶に訪れ、「雪を見るのは初めて。楽しみです！」と笑顔を見せていました。

メリー先生 来日



Nice to meet you!



11月11日(木)、「わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア2021」が開催されました。このイベントは、地元 稚内の様々な仕事を知ってもらおうと平成30年度から開催しているもので、参加した市内の中学1年生約220人は、企業や団体担当者の“生の声”を聞いて熱心にメモを取ったり、実際の仕事道具を手にとって体験するなど、将来について考える良いきっかけになったようです。

稚内のしごと、じぶんの未来を考えよう